

第1回中津川市上下水道事業経営審議会 会議録

開催日時：令和元年7月31日（水）午前9時30分～午前11時30分

開催場所：中津川市役所4階大会議室

出席者	委員	別紙一覧 出席 20名
	事務局	市長 青山 節児 総務部財政課長 丹羽 栄作 環境水道部：部長 高橋 淳一、次長 野田 越司 浄化管理センター：所長 伊藤 富士男 水道課：課長 伊藤 健司、課長補佐兼管理係長 吉村 謙次、 整備係長 磯部 昭良 下水道課：課長 木下 信介、課長補佐兼管理係長 木村 章博、 計画係長 林 由樹、整備係長 矢頭 大喜 水道経営課：課長 長谷川 尚輝、企画経営係長 額 涼子、 主任主査 伊藤 雅浩
次第	1. 開会 2. 市長あいさつ 3. 委員委嘱 4. 会長・副会長の選任 5. 諮問 6. 議事 議題1号 中津川市水道事業の現状と課題について 議題2号 中津川市下水道事業の現状と課題について 7. 閉会	
1. 開会（9：30）		
2. 市長あいさつ		
市長	<p>本日は第1回の中津川市上下水道事業経営審議会を開催させていただきました。皆様におかれましては大変お忙しい中、委員を引き受けていただきましたこと心よりお礼を申し上げます。委員の構成は、中津川市内の15地域の区長さんからの推薦いただいた方、市内を代表する組織の皆様にもご参加いただきまして生活・産業面での上下水道についてご議論いただきたい思いで皆様に委嘱をさせていただきますのでどうかよろしく願いいたします。</p> <p>中津川市の上下水道は、平成17年の合併時の旧市町村ごとの料金体系を、激変緩和措置の期間を設け、平成26年4月に全市統一の料金となりました。</p> <p>また、下水道は、排水した水量に応じて料金をいただくため、平成30年度に下水道料金定額制を廃止し制度の適正化を図りました。</p> <p>一方で、施設の老朽化、人口減少に伴う空き家の増加などにより既存の計画と差異等を生ずるような状況です。</p> <p>本日の議題は、「水道事業及び下水道事業の現状」として現状の課題などを説明させていただきます。</p> <p>この審議会は、両事業は利用者の方から使用料をいただくということが必要な事業です。経営体制について皆様にご審議いただくものです。</p> <p>皆様におかれましては、大変お忙しい中ではありますが、中津川市の上下水道事業の将来のため、また、市民の皆様が安心して使っていただける事業としての土台を築いていきたいと思っております。よろしく願いいたします。</p> <p>以上で冒頭の挨拶とさせていただきます。</p>	

3. 委員委嘱	
事務局	<p><市長から委員名簿1番の高田様に代表交付> (審議会成立の報告) 委員20名のうち、出席委員20名で、過半数に達しております。</p>
4. 会長・副会長の選任	
事務局	<p><会長、副会長の選任> 中津川市附属機関の設置等に関する条例施行規則第3条に審議会に会長及び副会長を置くことを規程</p>
委員	(委員から事務局一任の声)
事務局	事務局一任というご意見をいただきましたが、よろしいでしょうか。
委員	(異議なし)
事務局	事務局案、会長、中京学院大学経営学部准教授 高田尚彦様、副会長、中津川市連合女性防火クラブ会長 土屋厚子様を推薦したい。
委員	(異議なし)
事務局	皆様のご承認をいただきましたので、会長は高田 尚彦様に、副会長は土屋 厚子様 をお願いしたいと存じます。 (会長、副会長席の移動) それでは、会長、副会長さんからご挨拶をお願いいたします。
会長	<p><会長・副会長あいさつ> 会長にご推挙いただきました中京学院大学経営学部 高田尚彦です。 今後、当審議会は皆様のご協力のもとに進めていきたいので、よろしくお願ひいたします。</p>
副会長	<p>中津川市連合女性防火クラブ 土屋と申します。 毎日の生活に重要な事業ですので、円滑に良い方向に進めていけるよう皆様と考えていければと思っておりますのでよろしくお願ひいたします。</p>
5. 諮問	
市長	<p><諮問書を読み上げ会長に手渡す。> 市長公務により退席</p>
6. 議事	
事務局	<p>本日の審議会の予定は、お手元の次第のとおりです。 中津川市審議会等の会議の公開に関する指針第3条にもとづき、この審議会の審議内容及び審議会委員名簿は、公開させていただきます。市公式ホームページ等へ</p>

	<p>の掲載、報道機関等への情報提供をさせていただきますので、ご了承をお願いいたします。</p>
事務局	<p><資料確認></p>
事務局	<p><事務局紹介> 司会より事務局職員の紹介</p>
	<p>===審議会の進行は、会長===</p>
<p>議題1号 中津川市水道事業の現状と課題について</p>	
会長	<p>それでは、審議会を開催いたします。皆様のご協力をお願いいたします。 審議会を開催するにあたり、事務局より審議会の行程について説明したいとの申し出がありますので、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>第1回目の今回は、上下水道事業の現状と課題を委員の皆様に把握していただき、その後、質疑の時間、委員の皆様のご意見をいただきたい。 年度内に残り3回の審議会を開催し、答申をまとめていただきますようお願いいたします。</p>
会長	<p>事務局から審議会行程について説明がありましたが、いかがでしょうか？</p>
委員	<p>(異議なし)</p>
会長	<p>ただいま、審議会の行程についてご承認いただきましたので、最初に、「議題1号 中津川市水道事業の現状と課題について」を議題とします。事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>資料：「水道事業の現状と課題」、「給水区域図」に基づき説明</p>
委員	<p><質疑・応答> 専門職の確保の考え方は？ また、水道施設の更新に年に約36.6億円とある、更新年数は何年の試算か。</p>
事務局	<p>施設更新については、法定耐用年数で更新した場合の金額です。</p>
環境水道部長 (以下、部長)	<p>県や企業団には専門職がいますが、市にはいないため、人事当局へ経験豊富な技師などの異動に際して配慮を要請しています。</p>
委員	<p>水が不足している地域もある。水の確保のために人や金がいるという切り口で審議していったらどうか。</p>

事務局	次回以降の会議の際に調整したい。
委員	簡易水道統合後の大幅な赤字の原因を教えてください。
事務局	官庁会計方式が公営企業会計方式へ移行により発生する減価償却費の影響です。
委員	料金回収率が100%以下であるが、赤字なのではないか。
事務局	一般会計繰入金など水道料金以外の収入があるため黒字です。
委員	全ての管路を更新するのに130～140年かかるとする根拠は？ こんなに長く更新に時間をかけられないと思うがどう考えるのか。
事務局	管路経年化率の予測に基づき試算しています。 更新計画案は次回以降の会議でお伝えします。委員の皆様のご意見を参考に策定します。
委員	偏差値を用いた経営比較分析で有収率が32.4と類似団体と比較して悪い数値だが、原因は何か。また、老朽化は類似団体と比較して進んでいないが、漏水が多いのか。
事務局	主に漏水が原因です。また、老朽化度合いは管路以外の配水池等の施設も含むためです。 老朽化の度合いは減価償却費などがベースですので、建設金額の大きい配水池等の影響を受けます。このため、一概に漏水状況とは結びつきません。
委員	漏水をどれだけ抑えるという目標はないのか。
事務局	目標値は設定していませんが、有収率を上げることを大切に考えており、有収率85%を目標にしています。同規模自治体の有収率が85%なので、そこまでは引き上げたいと考えています。
会長	質疑がないようですので、質疑を終了してもよろしいですか。 (質疑なし)
会長	それでは第1号議案について質疑を終了します。
議題2号 中津川市下水道事業の現状と課題について	
会長	「議題2号 中津川市下水道事業の現状と課題について」を議題とします。
事務局	資料：「下水道事業の現状と課題」、「汚水集合処理箇所図」に基づき説明

委員	<p><質疑・応答></p> <p>繰入金について、平成29年度の都市計画税はどれくらい入っているのか。また、森林環境税の今後見込額みは？</p>
財政課長	<p>都市計画税は平成31年度予算に約5億2千500万円計上。</p> <p>森林環境税の額は未定です。使途は、環境に関するものと定められています。次回の審議会でお知らせします。</p>
委員	<p>下水道事業は償還金のウェイトが大きい但他市も同様な状況なのか。また、水洗化率を上げるメリットは何か。</p>
事務局	<p>データを持ち合わせておらず他市の状況は説明できませんが、下水道事業は整備に多額の資金を要するため、今が償還のピーク。農業集落排水事業などは今後、償還金が減少します。公共下水道事業と特定環境保全公共下水道事業は、3から4年後から減少します。次回以降の審議会でお知らせしていきたい。</p>
事務局	<p>水洗化率が上昇することで料金収入が増えます。デメリットはありません。</p>
会長	<p>質疑がないようですので、質疑を終了してもよろしいですか。</p> <p>(質疑なし)</p>
会長	<p>議題第2号の質疑を終了します。</p> <p>本日の議題は以上になります。これにて第1回中津川市上下水道事業経営審議会を終了させていただきます。ご協力ありがとうございました。</p>
7. 閉会	
部長	<p>委員の皆様におかれましては長時間にわたりまして誠にありがとうございました。水道事業と下水道事業の現状と課題をご説明させていただきました。</p> <p>下水道事業の4会計は、令和2年度に地方公営企業法を適用し、企業会計に移行します。これによりまして経営状況等の見える化が図られます。</p> <p>全国的に少子高齢化に伴う人口減少が進み、料金収入の増加が見込めない中で、施設の老朽化が進み更新需要が増えていきます。こうしたことを踏まえて、経営状況等について今後ご審議いただきます。</p> <p>また、今年度は、平成28年度に策定した経営戦略の見直しの年ですので、次回以降、資料をご提示して皆様にご審議をいただきたく予定です。</p> <p>本日は長時間にわたり、誠にありがとうございました。</p> <p>閉会 (11:30)</p>